

2011年12月度の化学繊維生産・在庫の概況（速報）

日本化学繊維協会

【生産動向】

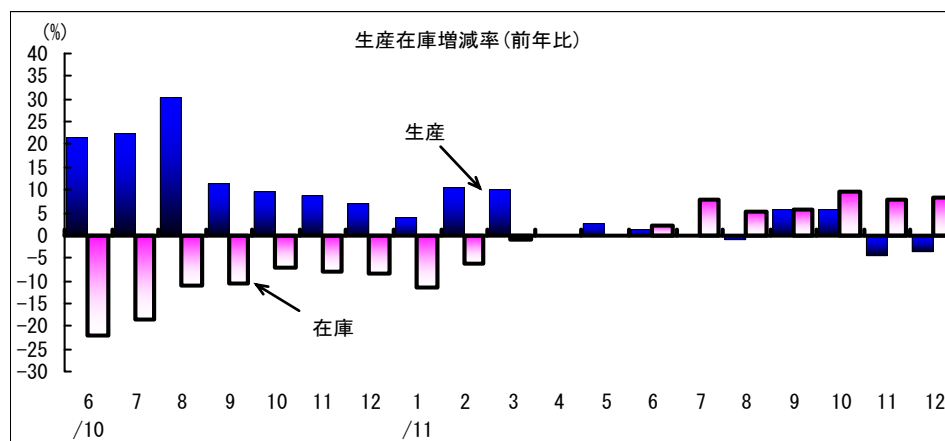
化学繊維生産は 83,251 トン、前年同月比 3.5%減、うち合成繊維生産は 70,204 トン、同 2.3%の減であった。

主要品種では、ナイロンFは前年同月比 2.7%増の 8,368 トン、アクリルSは同 3.7%増の 12,000 トン、ポリエステルFは同 4.1%減の 15,250 トン、ポリエステルSは同 6.5%減の 13,370 トンであった。

【在庫動向】

化学繊維在庫(生産者)は 98,894 トン、前月比 1.2%増、前年同月比 8.1%増、うち合成繊維在庫は 82,626 トン、前月比 1.4%増、前年同月比 8.2%の増であった。

主要品種では、ナイロンF 9,017 トン、前月比0.7%減、アクリルS 10,571 トン、同8.6%増、ポリエステルF 17,167 トン、同4.1%増、ポリエステルS 22,976 トン、同3.3%の減であった。



以上

ホームページアドレス <http://www.jcfa.gr.jp/>

お問い合わせ先: 日本化学繊維協会 大阪事務所 榎本
TEL: 06-6231-6784
業務調査G 田村
TEL: 03-3241-2313

2011年12月 化学繊維生産・在庫(速報)

[生産高]

	当月 (トン)	前月 (トン)	前月比較		前年同月比 (%)	累計(トン) 1月以降	前年同期比 (%)
			増減(トン)	比率(%)			
セルロース計	13,047	12,766	281	102.2	90.5	166,989	99.0
ナイロンF	8,368	8,089	279	103.4	102.7	95,038	102.2
アクリルS	12,000	9,963	2,037	120.4	103.7	151,559	107.1
ポリエステルF	15,250	15,311	-61	99.6	95.9	180,772	95.9
ポリエステルS	13,370	11,434	1,936	116.9	93.5	157,125	99.2
ポリプロピレンF	5,728	5,843	-115	98.0	100.5	67,832	104.9
ポリプロピレンS	4,487	4,577	-90	98.0	121.4	52,902	106.2
その他	11,001	11,150	-149	98.7	87.8	149,224	111.8
合繊計	70,204	66,367	3,837	105.8	97.7	854,452	103.0
合 計	83,251	79,133	4,118	105.2	96.5	1,021,441	102.3

[在庫高]

	当月 (トン)	前月 (トン)	前月比較		前年同月比 (%)
			増減(トン)	比率(%)	
セルロース計	16,268	16,237	31	100.2	107.7
ナイロンF	9,017	9,085	-68	99.3	89.8
アクリルS	10,571	9,734	837	108.6	112.6
ポリエステルF	17,167	16,497	670	104.1	104.8
ポリエステルS	22,976	23,759	-783	96.7	110.6
ポリプロピレンF	1,006	1,005	1	100.1	103.8
ポリプロピレンS	6,673	6,638	35	100.5	120.6
その他	15,216	14,761	455	103.1	114.5
合繊計	82,626	81,479	1,147	101.4	108.2
合 計	98,894	97,716	1,178	101.2	108.1

合繊主要4品種 生産・在庫推移

<生産>

		生産高(トン)	前月比(%)	前年同月比(%)
ナイロンF	2010年12月	8,148	101.6	99.6
	2011年7月	8,210	111.7	96.8
	8月	8,505	103.6	99.9
	9月	7,972	93.7	104.7
	10月	7,262	91.1	94.0
	11月	8,089	111.4	100.8
	12月	8,368	103.4	102.7
アクリルS	2010年12月	11,577	110.0	98.8
	2011年7月	12,257	93.4	100.2
	8月	14,073	114.8	113.0
	9月	13,362	94.9	115.4
	10月	13,651	102.2	105.2
	11月	9,963	73.0	94.7
	12月	12,000	120.4	103.7
ポリエステルF	2010年12月	15,902	106.7	98.2
	2011年7月	15,407	102.7	92.8
	8月	15,044	97.6	89.8
	9月	14,611	97.1	90.9
	10月	15,098	103.3	97.2
	11月	15,311	101.4	102.8
	12月	15,250	99.6	95.9
ポリエステルS	2010年12月	14,297	114.7	99.1
	2011年7月	13,974	105.4	101.1
	8月	14,916	106.7	108.3
	9月	12,104	81.1	91.2
	10月	11,942	98.7	110.8
	11月	11,434	95.7	91.8
	12月	13,370	116.9	93.5

(注)最新月は速報値、その他は確報値

<在庫>

		在庫高(トン)	前月比(%)	前年同月比(%)
ナイロンF	2010年12月	10,043	102.2	86.5
	2011年7月	11,467	104.9	124.3
	8月	12,196	106.4	117.5
	9月	11,122	91.2	112.9
	10月	9,916	89.2	100.1
	11月	9,085	91.6	92.4
	12月	9,017	99.3	89.8
アクリルS	2010年12月	9,389	111.8	80.3
	2011年7月	8,145	101.0	108.0
	8月	8,662	106.3	106.9
	9月	8,433	97.4	103.9
	10月	10,119	120.0	110.0
	11月	9,734	96.2	115.9
	12月	10,571	108.6	112.6
ポリエステルF	2010年12月	16,380	101.8	83.3
	2011年7月	15,459	103.1	90.3
	8月	16,613	107.5	90.4
	9月	15,483	93.2	86.1
	10月	16,001	103.3	94.5
	11月	16,497	103.1	102.5
	12月	17,167	104.1	104.8
ポリエステルS	2010年12月	20,767	101.1	89.5
	2011年7月	25,595	112.2	113.8
	8月	27,841	108.8	116.2
	9月	25,012	89.8	108.6
	10月	25,049	100.1	117.0
	11月	23,759	94.9	115.7
	12月	22,976	96.7	110.6

(注)最新月は速報値、その他は確報値

2011年間の化学繊維生産概況（速報）

2011年（年間）の化学繊維生産は102.1万トン、前年比2.3%増。うち合成繊維は85.4万トン、同3.0%増、セルロース繊維は16.7万トン、同1.0%の減であった。

主要品種の生産は、以下のとおり。

ナイロンFは9.5万トン、前年比2.2%増。衣料用途はタイツ類や高密度織物向けが健闘、産業資材用途はタイヤコードなど一部車輻向けが堅調。

アクリルSは15.2万トン、同7.1%増。衣料用途は保温肌着や靴下向けが好調、毛布・カーペットなど建寝装向けは低調、中国向け輸出が好調。

ポリエステルFは18.1万トン、同4.1%減。衣料用途は消費不振が続き婦人物などが低調、タイヤコード、カーシートなどの自動車関連用途が苦戦。

ポリエステルSは15.7万トン、同0.8%減。紡績用途は帆布・テント地向けが増加、製綿用途は不振が続く、不織布用途は生活資材向けが健闘したが、車輻資材向けは苦戦。

上記以外では、ポリプロピレンF・Sともに前年を上回り堅調であった。

以上

2011年 化学繊維生産高 (速報)

日本化学繊維協会

品 種	2011年 (トン)	2010年 (トン)	前年比較	
			増減(トン)	比率(%)
セルロース計	166,989	168,656	-1,667	99.0
ナイロンF	95,038	93,026	2,012	102.2
アクリルS	151,559	141,524	10,035	107.1
ポリエステルF	180,772	188,451	-7,679	95.9
ポリエステルS	157,125	158,351	-1,226	99.2
ポリプロピレンF	67,832	64,668	3,164	104.9
ポリプロピレンS	52,902	49,830	3,072	106.2
その他	149,224	133,511	15,713	111.8
合繊計	854,452	829,361	25,091	103.0
合 計	1,021,441	998,017	23,424	102.3

(注) 非会員企業のデータについては推定値で集計した。以下同様